

グローバル・サステナブル・グロース戦略

マンスリーレポート

2023年
1月号

投資哲学およびスタイル

ステークホルダーとの関係によって生み出される長期的な価値創造に着目し、「サステナブル」な事業を有する銘柄に厳選投資することで、長期的に超過収益を獲得することを目指すグローバル株式運用戦略（ジャッジメンタル、アクティブ運用）

パフォーマンス(2022年12月末時点、円ベース)

	当月	2022年度	過去1年	過去3年*	過去5年*
コンポジット	-7.63%	-2.16%	-4.08%	16.33%	14.80%
ベンチマーク	-9.16%	-6.23%	-6.46%	10.95%	8.61%
超過収益	1.53%	4.07%	2.38%	5.38%	6.20%

※年度別パフォーマンス

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
コンポジット	-9.61%	12.70%	14.43%	14.38%	-3.59%	64.66%	17.67%
ベンチマーク	-10.34%	14.05%	9.61%	6.78%	-13.44%	58.24%	17.84%
超過収益	0.73%	-1.36%	4.82%	7.60%	9.86%	6.42%	-0.17%

(注) Schroder Global Sustainable Growth Composite (運用報酬等控除前、円ベース)。ベンチマークはMSCI ACWI 指数。*年率換算ベース。過去の運用実績は将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。出所：シュローダー、MSCI

パフォーマンスの振り返り

12月のグローバル株式市場は、先進国株式市場、新興国株式市場ともに下落しました。先進国株式市場は、米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げを継続する姿勢を示したことが嫌気されました。新興国株式市場も下落した一方、中国におけるゼロコロナ政策の緩和等が支援材料となり、先進国株式市場を上回りました。

このような環境下、グローバル・サステナブル・グロース戦略は12月、ベンチマークをアウトパフォームしました。セクター別では、コミュニケーションやヘルスケアの銘柄選択等がマイナスに影響した一方、一般消費財や金融の銘柄選択等がプラスに寄与しました。個別銘柄では、Salesforce(情報技術)やAlphabet(コミュニケーション)、Texas Instruments(情報技術)のオーバーウェイト等がマイナスに影響した一方、AIA Group(金融)やVestas Wind Systems(資本財)のオーバーウェイト、Apple(情報技術)のアンダーウェイト等がプラスに寄与しました。

今後の見通し

ウクライナ情勢に加え、世界的な金利上昇、景気後退リスク等、市場の不透明感は一段と高まっています。変動の大きい相場環境が続く可能性が懸念されますが、引き続き安定したバランスシートを有し、サステナブルな収益のドライバーを有する企業を選別投資する当戦略は長期的に高い有効性を発揮すると考えます。

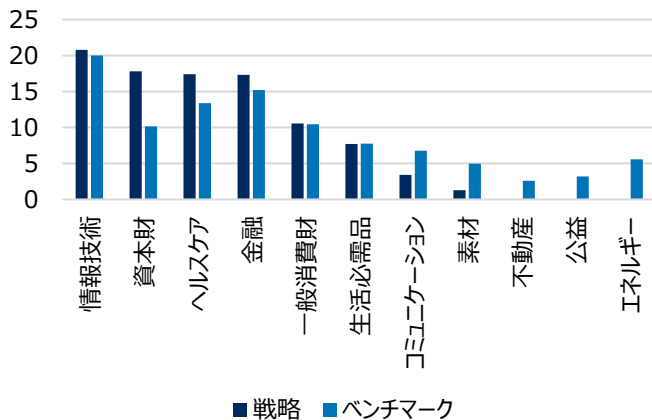
グローバル・サステナブル・グロース戦略

マンスリーレポート

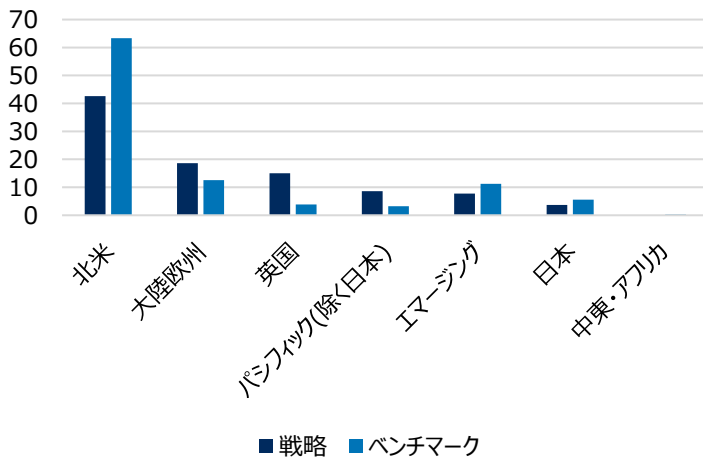
2023年
1月号

セクター配分（2022年12月末時点）

（%）



地域別配分（2022年12月末時点）



保有ウェイト上位5銘柄(2022年12月末時点)

銘柄名	保有ウェイト(%)
Microsoft Corporation	5.6
AIA Group Limited	4.0
Thermo Fisher Scientific Inc.	3.6
Alphabet Inc. Class A	3.4
Elevance Health, Inc.	3.3

注：セクターおよび地域別配分、組み入れ銘柄は、当戦略の代表ファンド「SISF Global Sustainable Growth」の組み入れ状況。ベンチマークはMSCI ACWI 指数。当戦略をご紹介する上でご参考として掲載するものであり、当該ファンドの取得の勧誘を意図するものではありません。当該ファンドは日本国内では販売されていません。出所：シュローダー、MSCI

本資料は、機関投資家及び販売会社を対象とした情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を意図するものではありません（本資料は個人投資家への使用を目的とするものではありません）。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。コンポジット・パフォーマンスについての詳細はお問い合わせください。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。本資料に記載された特定のファンドに関する情報は、本資料でご紹介する運用戦略等を説明するための参考情報として記載したものであり、当該ファンドの募集その他勧誘を目的としたものではありません。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料中に個別銘柄についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものでもありません。本資料中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく複製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があります。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、本資料の作成者あるいは提供者はいかなる責任を負うものではありません。MSCIは、本資料に含まれるいかなるMSCIのデータについても、明示的・黙示的に保証せず、またいかなる責任も負いません。MSCIのデータを、他の指数やいかなる有価証券、金融商品の根拠として使用する、あるいは再配布することは禁じられています。本資料はMSCIにより作成、審査、承認されたものではありません。いかなるMSCIのデータも、投資助言や投資に関する意思決定を行う事（又は行わない事）の推奨の根拠として提供されるものではなく、また、そのようなものとして依拠されるべきでもありません。シュローダー/Schroders とは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。

投資一任契約に基づいた運用を前提とするお客様へ

本資料に記載されている特定のファンドに関する情報は、本資料でご紹介する運用戦略等を実現する際に投資一任契約口座にて投資対象となりうる有価証券を例示することを目的としたものであって、弊社が当該ファンドの募集その他勧誘を目的としたものではありません。ご契約に際しては、必ず契約締結前書面をご熟読ください。

【費用等について】弊社が投資運用業としてお客様に資産運用サービスをご提供する際には、運用報酬の他、組み入れ資産の売買手数料、保管費用等をお客様にご負担いただきます。運用報酬及びその他の手数料、費用等は、契約の種類、契約資産残高、運用手法、及び運用状況等により異なるため、あらかじめその料率やその上限額等を表示することはできません。

【リスクについて】受託資産の運用には、組み入れ有価証券等の価格変動リスク（ファンド等かかる有価証券等がさらに組み入れている対象物の価格変動リスクも含みます）、金利や金融市場の相場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない市場流動性リスク、及び株式やその他の有価証券の発行体の信用リスク等の影響を受けます。また、外貨建ての資産は、為替変動リスクの影響も受けます。また、デリバティブ取引を利用する場合、取引開始時に差し入れた証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。また証拠金の額や算出方法は取引の内容等により異なるため、取引の額の当該証拠金の額に対する比率は表示することができません。従って、これらの影響により組み入れ資産の価格が変動して損失を生じ、投資元本を毀損する可能性があります。受託資産の運用によって生じた損益はすべてお客様に帰属します。